

# いわた IWATA 市議会だより

平成26年

2014

5月1日発行

No.45

発行／磐田市議会 磐田市国府台3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>  
編集／議会報編集委員会 電話(0538)37-4822 ファックス(0538)37-4845 (議会事務局)



## 浜名湖花博「磐田市の日」イベントを開催

4月6日(日)、浜名湖ガーデンパークで開催中の浜名湖花博2014で、「磐田市の日」イベントが行われました。ステージでは、豊岡ジュニアマーチングバンドの演奏や市内のダンスチームのパフォーマンスが披露され、磐田市の魅力をPRしました。また、6月15日までの開催期間中は、磐田市の花壇(写真右下)が展示されており、来場の方々に観賞していただくことができます。

## 主な内容 (ページ)

- 26年度一般会計予算(説明・討論)……………2～3
- 26年度特別・企業会計予算(説明・討論)……………4～5
- 一般質問……………6～11
- 審議結果、5月臨時会の予定……………12

## 2月定例会

市議会は、平成26年2月定例会を2月13日から3月24日までの40日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の平成26年度各会計予算など40議案について慎重に審議しました。その結果、原案のとおり可決・同意しました。

なお、一般質問は、2月24日から26日までの3日間に行われ、15名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをたえました。

# 1,000万円 (前年度比) 5.7%増加 を 可決

「力強く挑戦する磐田」  
将来を見据えた施策を推進

予算総額は、617億1千万円で、前年度に比べ33億1千万円、5.7%の増額です。

これは、市税の増収が見込まれる中、消費税引き上げの影響や消防救急無線のデジタル化、(仮称) 福田幼保園などの公共施設の見直しに伴う各地区への施設整備事業費等、普通建設事業費が大幅に増加したことが主な要因です。

歳入のうち市税は、景気の持ち直しが見られることから、3.4%増の268億7414万9千円を、市債は臨時財政対策債の減額により、12.8%減の47億4170万円をそれぞれ見込みました。

歳出における優先施策は、

- ①安全・安心のための防災・減災対策では、マンホールトイレの設置等、②産業の活性化対策では、新東名磐田スマートインターチェンジ設置の推進等、③将来を担う子どもたちへの支援では、小中学生への医療費助成拡大等、④地域福祉・支え合いの推進では、障害者福祉施設への通所費用の助成等、⑤公共施設の見直しでは、竜洋地区への体育センター建設等、⑥合併10周年に向けた環境づくりでは、市歌の制定等に取り組みます。

## 一般会計予算に対する討論

消費税や原発への姿勢に問題  
住民合意得られぬ学校統合

反対 (共) 市長の政治姿勢

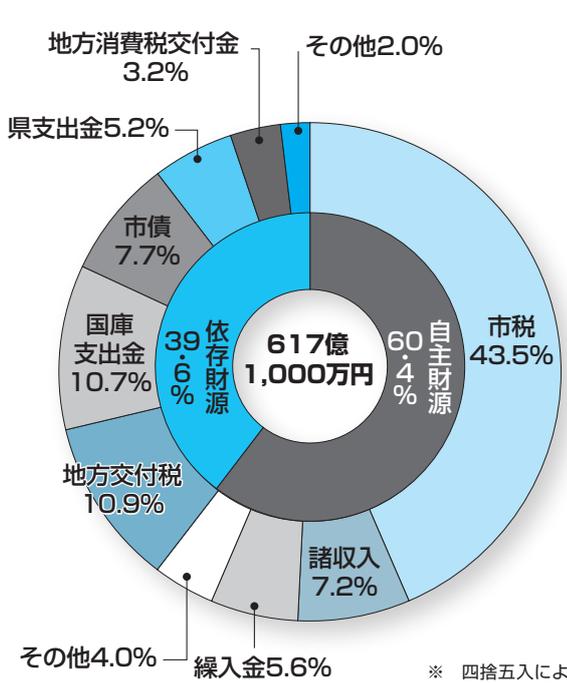
では、市民の暮らし、営業を守るべき市長が、消費税増税容認派では問題と考える。また、浜岡原発31キロ圏内の市

長として、原発ゼロの政治的方向性を示すべきだが、毅然とした姿勢がない。

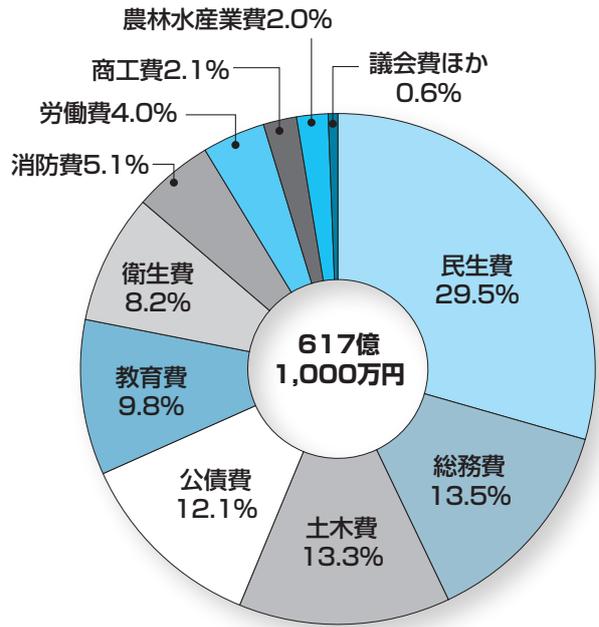
歳出では、豊岡東・北小統合は、保護者や住民の合意が得られない中で進められたもので、統合推進事業費には賛成できない。また、小中一貫

賛成21 (志・新・き・公)、  
反対3 (共) により可決。

## 歳入



## 歳出



※ 四捨五入による端数処理のため、各区分の数値を合計した場合、合計欄の数値と一致しない場合があります。

# 平成26年度 一般会計予算 617億

教育で、学校ごとの方向性を示さないままに、施設分離型から一体型ありきの考え方は問題である。さらに、幼・保再編計画は、地域に根付いてきた幼児教育を後退させるものと考ええる。

歳入では、使用料、手数料に消費税の転嫁が行われているが、市民の立場に立って、上乘せすべきでない。

改善を求めることとして、公務公共業務では、正規雇用を計画的にふやす姿勢を求める。また、財政調整基金は合併後最高の約90億円となっているが、税金は市民生活向上に優先的に使うべきであり、財政運営の改善を求める。

なお、こども医療費助成における小中学生の時間外診療の拡充や障害者福祉施設通所費助成の実施は、市民要望の反映として一定の評価をする。以上により反対する。

## バランスとれた施策推進 将来負担の軽減に努力

### 賛成 (新) 26年度予算は、

「安全・安心のための防災・減災対策」や「産業の活性化対策」など、6つの優先施策を掲げ、市民目線で現状や将来

を的確に見据え、バランスのとれた施策の推進が予定されている。リーマンショック直後の守りの状況から前進し、将来を見据えた方針が示されている予算である。

財政規律の面では、投資的経費が25年度比で32億円増額になったにもかかわらず、市債の借り入れが7億円減額となり、将来への負担をできる限り軽減しようとする努力は評価できる。

また、財政調整基金を大幅に繰り入れ、防災、子育て、福祉、教育など一層の市民サービス向上のため、また公共施設の見直しに伴う施設整備や将来の成長・発展を見据えた大規模事業等の財源として有効な活用を図っている。

今後は、普通交付税が合併算定がえにより段階的に縮減されるなど、今まで以上に難しい市政運営が求められる。

職員体制を含めた組織改革、業務の見直し、公共施設の見直しなど、将来の成長・発展のための戦略的事業の推進や、厳しい財政状況下であっても安定した運営ができる強い行財政基盤の確立を強く期待し、賛成する。

## 【平成26年度優先施策】

	優先施策	項目
①	「安全・安心のための防災・減災対策」	・災害用マンホールトイレの整備 ・津波避難タワーの設置 ・中東遠地域消防救急無線のデジタル化 など
②	「産業の活性化対策」	・新東名磐田スマートIC設置の推進 ・遠州豊田PA南側周辺の開発に係る基本調査 ・津波避難タワー兼風力発電施設の建設 など
③	「将来を担う子どもたちへの支援」	・小中学生への医療費助成の拡充 ・福田地区への認定こども園の建設 ・生活保護受給世帯の子どもへの学習支援 など
④	「地域福祉・支え合いの推進」	・障害者福祉施設への通所費用の助成 ・ひとり親家庭への保育サービス利用料金助成 ・認知症グループホーム等の整備 など
⑤	「公共施設の見直し」	・竜洋地区の体育センターの建設 ・豊田東地区へのコミュニティセンターの建設 ・コミュニティ消防センターの建設 など
⑥	「合併10周年に向けた環境づくり」	・市歌の制定 ・合併10周年記念に向けた準備 ・道路照明灯・公園照明灯等のLED化 など

# 特別・企業会計予算を可決

## 国民健康保険事業特別会計予算

予算総額は175億1408万6千円で、前年度に比べ約4・0%、6億6979万5千円の増額となりました。

内容は、保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金や保健事業費など、国民健康保険事業に必要な経費を計上したもので、主な財源は、保険税、国・県などからの負担金・交付金や一般会計繰入金です。

引き続き、国民健康保険財政の健全化と円滑かつ適正な事業運営に努めます。

**賛成21(志・新・き・公)、**  
**反対3(共)により可決。**



### 討論

**一般会計の繰入をふやし  
国保税の負担を減らすべき**

**【反対 (共)】** 反対の主な理由は、一般会計からの独自繰り入れの減額である。26年度予算の繰入額は3億円で、一番多かった23年度の半分以下である。逆に、給付等支払準備基金からの取り崩し額は合併後最高額である。つまり、一般会計からの独自繰り入れを減額し、基金で対応しているということである。そもそも、基金とは、加入者が納め過ぎた国保税である。

また、国保税が高くなる原因は、国庫負担の削減であり、国保税軽減のために一般会計から国保会計への繰り入れがある。一般会計からの独自繰り入れをふやし、国保税の負担を減らすべきである。また、基金は国保税の引き下げに充

てるべきである。  
以上により反対する。

**さらなる財政健全性の  
向上に期待**

**【賛成 (志)】** 国保税収納率が上昇傾向にあることや収納対策により、税率を改定することなく、39億3901万9千円の税収入を見込み、歳入財源の不足分を一般会計からの繰入金と給付等支払準備基金で補填している。特に、財政健全化の観点から、一般会計からの法定外繰り入れは25年度と同程度としている。

また、歳出の一般被保険者療養給付費の大幅な増加見込みに対し、退職被保険者等療養給付費は実績を反映し減額するなど、歳出の精査に努めていることや、その他一般会計繰入金と給付等支払準備基金を効果的に組み合わせた歳入予算編成を評価する。  
今後のさらなる財政健全性の向上に向けた努力を期待し賛成する。

## 介護保険事業 特別会計予算

予算総額は111億879万7千円で、前年度に比べ約12・0%、11億8880万6千円の増額となりました。

内容は、介護保険事業計画に基づき、在宅及び施設における介護サービス充実に伴う介護給付費等を見込みました。引き続き、制度を適切に利用していただくため、周知・啓発を図るとともに、事業の円滑な運営に努めます。

**全会一致により可決。**

## 水道事業会計予算

業務予定量は、給水戸数5万8323戸、年間総給水量2203万7240<sup>3</sup>m<sup>3</sup>、一日平均給水量6万376<sup>3</sup>m<sup>3</sup>を見込み、収益的収入額は28億342万7千円、収益的支出額は26億7894万9千円を計上しました。

資本的収入額は6億3536万5千円、資本的支出額は15億6656万4千円とし、不足額は過年度分損益勘定留保資金等で補填します。  
主な事業は、老朽管の布設

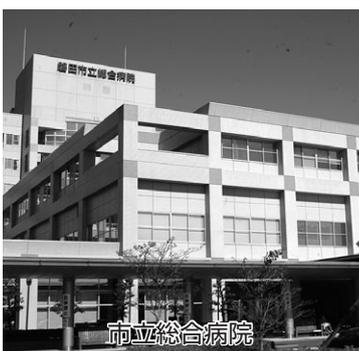
替工事や配水場・水源井維持工事等です。  
**全会一致により可決。**

## 病院事業会計予算

業務予定量は、入院患者数一日平均465人、年間16万9725人、外来患者数一日平均1200人、年間29万2800人を見込み、収益的収入額は157億4304万7千円、収益的支出額は164億3959万3千円を計上しました。

資本的収入額は12億9769万7千円、資本的支出額は22億2580万1千円とし、不足額は過年度分損益勘定留保資金等で補填します。

主な事業は、本館外来改修工事や放射線一般撮影用FDDシステムの更新等です。  
**全会一致により可決。**



## 平成26年度 各会計予算

### 一般会計

会計名	平成26年度予算額	平成25年度予算額	増減
一般会計	617億1,000万円	584億円	33億1,000万円

### 特別会計

会計名	平成26年度予算額	平成25年度予算額	増減
国民健康保険事業特別会計	175億1,408万6千円	168億4,429万1千円	6億6,979万5千円
後期高齢者医療事業特別会計	14億8,612万9千円	14億2,524万7千円	6,088万2千円
介護保険事業特別会計	111億 879万7千円	99億1,999万1千円	11億8,880万6千円
公共下水道事業特別会計	61億6,815万7千円	61億8,921万1千円	△2,105万4千円
その他の特別会計	2億5,918万円	2億5,141万円	777万円

※その他の特別会計には、公平委員会、駐車場事業、農業集落排水事業、4財産区の各特別会計の合計額を記載しています。

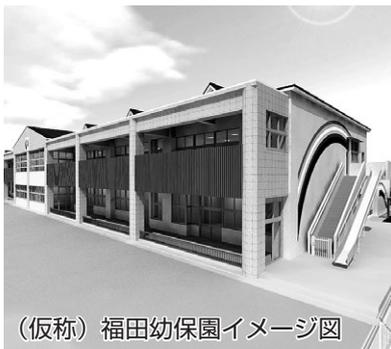
### 企業会計

会計名		平成26年度予算額	平成25年度予算額	増減	
水道事業会計	収益的	収入	28億 342万7千円	27億5,009万5千円	5,333万2千円
		支出	26億7,894万9千円	27億1,911万2千円	△4,016万3千円
	資本的	収入	6億3,536万5千円	6億3,774万8千円	△238万3千円
		支出	15億6,656万4千円	15億3,797万8千円	2,858万6千円
病院事業会計	収益的	収入	157億4,304万7千円	154億1,922万7千円	3億2,382万円
		支出	164億3,959万3千円	159億7,383万7千円	4億6,575万6千円
	資本的	収入	12億9,769万7千円	14億4,834万6千円	△1億5,064万9千円
		支出	22億2,580万1千円	23億5,723万7千円	△1億3,143万6千円

収益的収支…収益的収入は、水道事業の水道料収入、病院事業の入院・外来の診療収入などをいいます。

収益的支出は、職員給与や材料費、光熱水費などをいいます。

資本的収支…主に施設を整備・拡充するために必要な経費と財源をいいます。



(仮称) 福田幼保園イメージ図

**賛成** (共) 津波対策としての移転や老朽化した園舎の建て替えは必要であり、こうした点では賛成する。統合される幼保園は、当面定員330人以上の施設となり、災害時に安全に避難させることがで

**討論**  
給食施設を含め  
公営での施設運営を

これは、(仮称) 福田幼保園の新築工事(建築)について、6社による制限付き一般競争入札を行った結果、消費税を含めた9億8172万円、落札業者と工事請負契約を締結するものです。  
全会一致により可決。

**(仮称) 福田幼保園新築工事  
請負契約の締結を可決**

これは、市内で多発している収集委託業者以外の者による、資源ごみの持ち去り行為の防止及び市の処理施設に搬入されるごみの分別の徹底を図るため、条例の一部を改正するものです。  
内容は、資源ごみの持ち去り行為を禁止し、違反者には禁止命令の発令、氏名の公表罰則を設けるほか、処理施設への搬入基準を明確にし、違反物の搬入制限や、違反者への立入検査の実施を規定するものです。  
施行日は26年4月1日、罰則規定については26年7月1日です。  
全会一致により可決。

これは、(仮称) 福田幼保園の新築工事(建築)について、6社による制限付き一般競争入札を行った結果、消費税を含めた9億8172万円、落札業者と工事請負契約を締結するものです。  
全会一致により可決。

**資源ごみの持ち去り行為の防止等を  
図るための条例改正を可決**

きるか心配である。また、どの子にも一定の基準に基づく施設で、集団的で系統的な保育や幼児教育が保証されることが大事である。さらに、よりよい保育、幼児教育にするためには正規職員をふやすことが必要である。給食施設の運営を含め、公営での施設運営をすることを付し賛成する。  
全会一致により可決。

# — 市政を問う — 一般質問(要目)

## 教育・文化の諸課題

### 地域経済活性化策／安久路調整池の活用

日本共産党磐田市議員 高梨俊弘 議員(二問一答)

#### 教育・文化

**〔質問〕** 浜松市の学校給食でのノロウイルスによる集団食中毒に対する見解と対策は。

**〔答弁〕** 近隣市で大規模な汚染となったことを深く受けとめている。衛生知識向上のため、研修内容及び栄養士の学校訪問の充実を一層図っていく。

**〔質問〕** 図書館の図書・資料購入費を増額すべきだが見解は。

**〔答弁〕** 図書館の耐震補強工事等を最優先としてきた。市民生活上の課題解決のための資料や子供の成長に欠かせない図書等の充実に努める。

**〔質問〕** 遠江国分寺跡の今後の整備計画と課題は。

**〔答弁〕** 26年度は追加調査に加え整備方針の検討を予定している。発掘調査で期待した成果が得られず、教育歴史資料としての整備の進め方が課題である。今後、市民が憩う公

園整備の姿を研究したい。

#### 地域経済

**〔質問〕** 買い物弱者と呼ばれる高齢者がふえているが対策は。

**〔答弁〕** 食事の宅配など民間サービスの情報提供やデマンド型タクシーによる足の確保、各地区の社会福祉協議会等の買い物弱者を支える活動など、



安久路調整池位置図

で組織する協議会を設立し、市は施設の修繕等を、地元や学校は利用団体の登録や日常管理を行う予定となっている。

地域商業の振興とあわせ包括的に支援したい。

#### 安久路調整池

**〔質問〕** グラウンドとして整備するに至った経緯、運営管理はどのようになるのか。

**〔答弁〕** 市内の学校から使用したい旨の申し出があり、地元でも管理の負担軽減が見込めるため調整池内にグラウンドを整備することとした。自治会やひょうたん池自然を考えたグラウンドの地元、学校、市

## 農業振興 産業・観光振興

志政会 高田正人 議員(一括質問)

#### 農業

**〔質問〕** 農業の担い手育成支援策の現状と基本的な考えは。

**〔答弁〕** 担い手への農地集積推進や、国等の補助制度を有効活用している。26年度からは農業経営者育成事業を実施し、経営者育成支援に努める。

**〔質問〕** 施設園芸農家の燃料高

**〔答弁〕** 福田地区の障害者施設

が、耕作放棄地の新たな活用方法としてモデル提案事業を行っている。この事業を検証し、新たな就労の場を施設や団体に提供していきたい。

#### 産業・観光

**〔質問〕** 企業の海外進出に対する支援策を伺う。また、観光振興につなげる考えは。

**〔答弁〕** 国内外で開催される産業展示会等への出店経費を補助するなど、企業を支援する体制を整える。海外進出に伴い、海外からの来客数増加が予測され、観光産業の商機が広がる可能性もあると考える。

**〔質問〕** 異業種交流会の内容及成果について伺う。



観光/パンフレット(5ヶ国語)

**〔答弁〕** 2月の交流会には117社の参加があり、67件のビジネスマッチングが成立した。商工会議所等とも連携し、効果的な交流促進を目指したい。

## 市長の政治姿勢 まちづくり

日本共産党磐田市議員 根津康広 議員(二問一答)

#### 政治姿勢

**〔質問〕** 消費税増税は経済も財政も共倒れの悪循環を招き、貧困と格差を広げ、市民生活への影響が大きい。見解は。

**〔答弁〕** 市や市民に対して少なからず影響を及ぼすと考えるが、社会保障の安定財源確保や国の財政健全化実現等のため、待ったなしで取り組むべ

き改革である。断腸の思いだが、増税に容認派である。

**〔質問〕** 中部電力は、原子力規制委員会に浜岡原発4号機の実地審査を申請し、周辺住民などの厳しい反発を呼んでいる。見解は。

**〔答弁〕** 原発再稼働とは全く別と考えるが、現状を考えると新規制基準に対応する対策工

事を最優先すべきであり、時期尚早ではないかとも思う。

まちづくり

【質問】 市民文化会館の整備方針等を検討する委員会の委員選出基準、検討内容、整備方針の決定時期は。

【答弁】 学識経験者や市内企業、各種団体等の代表者を考えている。



市民文化会館

文化施設全体のあり方を検討する中で、市民文化会館や文化振興センターについても26年度中の方針決定を目指し

再生可能エネルギー普及目的の市民ファンド  
文化施設等整備方針検討委員会

新磐田 芦川和美 議員（二括質問）

市民ファンド

【質問】 いわたエコパークの取り組みに、多くの市民が参加できる自然エネルギー普及の方法として、市民ファンド設立支援の考えは。

【答弁】 早期に事業を進めるため、エコパークへの利用は現時点では考えていない。エコパーク以外への導入は、基本的に民間主導の事業だと考え

たい。

【質問】 民間開発による見付美登里土地区画整理事業による地元商店街への影響、通学路等の交通対策、保育所・幼稚園・学校施設への受け入れなど対応すべき課題は。

【答弁】 商店街への影響は特段聞いていない。交通対策は、混雑時の誘導員配置を検討するとともに、渋滞緩和のためバイパスへ左折するレーンの延長を事業者へお願いした。保育所・幼稚園の受け入れは、幼・保再編計画の中で対応し、学校は、児童数の推移を見て検討したい。

【質問】 再生可能エネルギーの活用は、環境教育や地域活性化等にもつながる。市民、企業等に学習会、情報提供等をする仕組みづくりの考えは。

【答弁】 小学生対象の事業では、アースキッズや風力発電施設見学会等を、企業対象の事業では、環境保全推進協議会

るが、今後、先進事例等も含め調査研究していきたい。

【質問】 津波対策事業基金の市民、企業に対する周知と今後の進め方は。

【答弁】 広報いわたや市ホームページに掲載するとともに、自治会連合会、商工会議所商工会へも協力をお願いしている。2月10日現在で8件、募金箱も含め1581万99546円の寄附があった。がんばる企業応援団や出前講座等を活用し、さらに啓発したい。

【質問】 消防団の各分団に可搬積載車を配備す



津波対策事業基金募金箱

【質問】 静岡県招致発起人会は、関係者が連携・協力し、試合を静岡県に招致することを目的としており、本市も協力していきたい。キャンプ招致は、市民の気運等も重要であり、まずは情報収

【答弁】 副市長とともに市政のトップマネジメントとして重要な課題の解決などに当たっており、現時点で副市長2人制の考えはない。

の活動として、ノーカードーやライトダウンキャンペーン等を実施している。また、桶ヶ谷沼ビジターセンターは、自然体験学習や啓発の場として活用されている。今後は、いわたエコパークを活用した事業や市民活動団体と連携し、より



アースキッズ事業

効果的な学習、啓発活動を推進したい。

文化施設

【質問】 文化施設等整備方針検討委員会で検討する内容は。

【答弁】 市内文化施設全体のあり方を検討する中で、市民文化会館及び文化振興センターのあり方も検討したい。

安心・安全のまちづくり／スポーツ振興  
合併10周年／人事

新磐田 加藤文重 議員（二括質問）

安心・安全

【質問】 津波対策事業基金の市民、企業に対する周知と今後の進め方は。

【答弁】 広報いわたや市ホームページに掲載するとともに、自治会連合会、商工会議所

る必要性は。

【答弁】 消防車の機能を有しつつ、水害時の土のう搬送、救助資機材を積載した救助活動、大規模災害時の住民避難等多目的に活用できる。

スポーツ振興

【質問】 ラグビーW杯のベースキャンプ招致の考えは。

【答弁】 静岡県招致発起人会は、関係者が連携・協力し、試合を静岡県に招致することを目的としており、本市も協力していきたい。キャンプ招致は、市民の気運等も重要であり、まずは情報収

【質問】 防波堤整備など特命的なことを踏まえ、副市長2人制の考えは。

【答弁】 副市長とともに市政のトップマネジメントとして重要な課題の解決などに当たっており、現時点で副市長2人制の考えはない。

【質問】 委員会の委員構成、任期、位置づけは。

【答弁】 委員は、学識経験者や市内企業、団体等の代表者を考えており、任期は26年度中を予定している。位置づけは、公共施設のあり方に対して、広く市民の意見を伺う委員会として。合併した市に必要な施設や規模を含めて、皆さんから意見を伺いたい。

【質問】 市民が選ぶ、市として伝えたい偉人集の作成を提案するが考えは。

【答弁】 市民が改めて磐田に対する理解を深め、自分のふるさとに関心と愛着を感じられるよい機会になると考えるので、10周年にこだわらず、今後市民の気運が高まった段階で検討していきたい。

合併10周年

【質問】 市民が改めて磐田に対する理解を深め、自分のふるさとに関心と愛着を感じられるよい機会になると考えるので、10周年にこだわらず、今後市民の気運が高まった段階で検討していきたい。

人事

【質問】 防波堤整備など特命的なことを踏まえ、副市長2人制の考えは。

【答弁】 副市長とともに市政のトップマネジメントとして重要な課題の解決などに当たっており、現時点で副市長2人制の考えはない。

# 財政調整基金のあり方 福田中学の地震・津波対策

きすなの会 太田佳孝 議員（二問一答）

## 財政調整基金

**質問** 中期財政見直しと比較して、基金が増額となる理由と今後の基金のあり方を伺う。

**答弁** 26年度予算での基金からの多額の繰り入れ等を考慮し、25年度、基金への積立を予定している。中期財政見直しでの適正な見積りに努め、公共施設見直し等による財政需要の増大、市税収入減少への備えなど、予想される一般財源への対応や市民サービスの維持・向上と将来を見据えた成長・発展とのバランスを考慮し、適切な運用に努める。

**質問** 不用額及び基金繰り入れに係る当初予算編成や補正予算のあり方、また、予算執行の適正化に対する見解は。

**答弁** 24年度決算剰余金及び精算補正による基金への積立は、歳入面での市税等の増加によるものであり、主に歳出面では、入札差金等の不用額が積み重なったものにとらえている。当初予算における見積りの精度を少しでも高めて

いきたい。

## 地震・津波対策

**質問** 福田中学校周辺の発災時における液状化の状況は。

**答弁** 県第4次地震被害想定における液状化を示す指数P

## 安心・安全なまちづくり

公明党警田 小野泰弘 議員（二括質問）

**質問** ロコモティブシンドローム（運動器症候群）対策の普及・啓発の現状と今後の対応を伺う。

**答弁** 転倒予防教室などの介護予防事業等を実施している。今後は、壮年期からの知識の普及啓発・予防活動をより積極的に図っていきたい。

**質問** 市内の公園等に設置されている健康遊具の状況と今後の展開を伺う。

**答弁** 10公園に29基の健康遊具が設置されているほか、iプラザやアミューズ豊田にも設置されている。今後は、例

L値はゼロであり、危険度は極めて低い判定となっている。

**質問** 中学校を移転する場合に見込まれる事業費は。

**答弁** 用地取得費を除き、約25億円から30億円と考える。

**質問** 移転の今後の見通しについて伺う。

**答弁** 防災面と耐用年数の両面を視野に入れて更新計画を検討するが、現在地への建て

替えはな

いと考

る。小中

一貫教育

の新たな

展開とし

て、市全

体を考え

た中で、

小中一体校も視野に入れて研

究・検討していきたい。



福田中学校

**質問** 放課後児童クラブの対象年齢を6年生まで引き上げる考えと、その時期を伺う。

**答弁** 対象年齢は拡大していく方向で検討を進めていくが、指導者の確保等多くの課題が

## 魅力あるまちづくり 安心・安全なまちづくり

志政会 細谷修司 議員（二括質問）

**質問** 竜洋海洋公園オートキャンプ場の利用拡大策を伺う。

**答弁** 11月から2月までのオフシーズンの集客が課題である。コテージの利用拡大を図るため、スポーツ合宿や各種団体の宿



竜洋海洋公園

あり、段階的な導入も検討していきたい。

**質問** 土砂崩れ対策として、環境に優しい全天候型フォレストベンチ工法導入の検討を。

**答弁** 排水性や環境の面からも有効な工法である。地形や土質等を考慮し、法面保護工の1工法として参考にしたい。

**質問** 大規模登録参加型避難訓練であるシエイクアウト訓練を単独実施できないか。

**答弁** 自治会・自主防災会連合会と連携し、12月の地域防災訓練で試験的に実施した。訓練内容の見直しに取り組んでおり、単独実施についても今後協議していきたい。

泊を伴う会議等の誘致も活発に行っていくきたい。

**質問** 竜洋海洋公園とその周辺の活性化を伺う。

**答弁** 民間の発電事業者を活用したエコパークの整備や、竜洋海洋フェスタなどによる集客に努め、地域の活性化につなげていければと考える。

安心・安全なまち

〔質問〕 静岡モデル構想の検討内容と防潮堤整備の考え方は。

〔答弁〕 静岡モデル推進検討会は4回開催され、防潮堤の高さや構造等を協議してきた。整備方針案として、防潮堤の高さは南海トラフ巨大地震の津波高に対応し、構造は盛土工法とすることで進んでいる。

〔質問〕 童洋海岸の護岸の整備計画と課題を伺う。

〔答弁〕 23年の台風で被災した区間は、県が26年度完成に向けて、コンクリート被覆に改良している。25年の台風で被災した区間は、26年度の工事実

施に向け予算要求中であると聞く。海岸侵食が被災の一因と考えられるため、海岸線を復元する養浜事業の促進を関係機関に働きかけたい。

〔質問〕 消防団の装備一新を。

〔答弁〕 救命胴衣、無線機等、26年2月に基準が改正された。消防団員の安全を最優先に、装備の充実を図っていく。

〔質問〕 今後の再生可能エネルギーの展開を伺う。

〔答弁〕 太陽光発電を中心とした施策の推進を図るとともに、風力発電やバイオマスエネルギーについても、民間事業者との連携を模索していきたい。

空き家対策の条例化 景観条例

新磐田 虫生時彦 議員（一括質問）

空き家対策

〔質問〕 空き家対策の条例制定の検討について伺う。

〔答弁〕 本市では自治会などから23年度以降16件の相談があり、うち12件の協力が得られ、4件は危険度が低いなどの状況であった。おおむね改善傾向にあるため、現在は条例の制定は考えていないが、国の空き家対策の動きを注視する

とともに、重要な案件だと認識しているため、今後協力の得られない空き家がふえてきた段階で、条例化を検討していきたいと考えている。

景観条例

〔質問〕 景観審議会での景観条例の検討状況は。また、制定時期に変更はないか。

〔答弁〕 25年度末を目途に、景観審議会で意見を伺っている。

26年6月議会に条例案を提案し、7月に公布、3カ月の周知期間を設け、11月の条例施行を予定している。

〔質問〕 景観形成推進委員会との関係は。

〔答弁〕 景観形成推進委員会は庁内の関係部局長で構成され、景観行政全般に関する調査、研究、調整を行うほか、条例の検討も予定している。

〔質問〕 景観形成ガイドプランとの関係を伺う。

〔答弁〕 ガイドプランは、本市の景観形成の指針として策定したもので、景観条例制定の際には、その位置づけ等について規定する予定である。



景観形成ガイドプラン

〔質問〕 景観法の基本理念に基づき、景観条例の中で、それぞれ地域ごとに区分けしたものとするのか伺う。

〔答弁〕 景観条例や景観計画の策定は、景観法の基本理念を踏まえ、地域住民の意向に沿った地域の自然や歴史などを大切にした景観形成を進めていきたいと考えている。

防災・行政・消防施策 健康・福祉・高齢者施策

公明党磐田 鈴木喜文 議員（一問一答）

防災・行政・消防

〔質問〕 外国人防災リーダーを養成する取り組みは。

〔答弁〕 自治会連合会等と連携し、外国人コミュニティの中心的人物がリーダーとなる等、防災に積極的にかかわっていただけるよう取り組みたい。

〔質問〕 消費税8%引き上げに伴う、臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金への対応を伺う。

〔答弁〕 個人情報の取り扱いにも十分注意するとともに、わかりやすい案内を行い、支給漏れ等がないよう努める。

〔質問〕 消防の広域通信システムについて、救助場所に正確かつ迅速に着くための対策は。

〔答弁〕 発信地通知情報のみに頼ることなく、住所と周囲の状況を通報者から聴



中東消防指令センター

取るほか、通報の受け付けを指令員の同時複数の監視のもとに行っている。緊急性がある場合は越境出動させ、早期対応を図っている。

健康・福祉・高齢者

〔質問〕 乳がん検診、子宮頸がん検診の未受診者に対する取り組みは。

〔答弁〕 26年度は、未受診者も含めて無料クーポン券の発送をできるだけ早く行い、検診期間を長くとりたい。

〔質問〕 不妊治療の人工授精費用について、県が新設する助成制度により、本人負担3割以下への対応は。

〔答弁〕 県の補助制度は、県が10分の2補助、市町が10分の5、本人が10分の3と想定される。市も県の制度内容に沿って対応できればと考えている。

〔質問〕 認知症高齢者の支援事業への取り組みを伺う。

〔答弁〕 26年度に見直す高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画により、事業推進を図っていききたい。

# 幼稚園・保育園再編計画を問う 市民生活関連

日本共産党磐田市議員 稲垣あや子 議員（一問一答）

## 幼・保再編計画

**質問** 「市内を中学校区に分け、公私立すすべての幼稚園、保育園の再配置をする」との決定はどこでなされたのか。

**答弁** 市内のプロジェクトチームが策定した素案を、関係部課長による策定委員会で検討し、子ども・子育て会議への報告を経て決定した。

**質問** 公立幼稚園での預かり保育の拡充と保育料を伺う。

**答弁** 26年4月から新たに磐田南・大藤・福田幼稚園で実施し、保育時間は午後2時から4時半までと考えている。27年4月からは公立幼稚園全園での実施を目指す。保育料は、26年度は現行の月7700円とし、27年度以降は子ども・子育て新システムで示される保育料を参考に設定する。

**質問** 福田幼稚園は、幼稚園と保育園を分けるべきでは。

**答弁** 同園は、幼保連携型認定こども園として、幼保一体施設で運営していく。

## 市民生活

**質問** 地域の活動拠点として、公民館の今後の方向性を伺う。

**答弁** 27年4月から、公民館やコミュニティセンターを一元化し、地域活動の拠点施設

として再構築を図りたい。

**質問** 臨時福祉給付金5億4000万円の対象者を伺う。

**答弁** 人数は、臨時福祉給付金が2万4000人、うち加算分が1万2000人、子育



電洋コミュニティセンター

# 子どもを取り巻く環境の変化への対応 スポーツのまちづくり

新磐田 芥川栄人 議員（二問一答）

## 子どもを取り巻く環境

**質問** 磐田っ子生活リズム向上大作戦「食べて・動いて・よく寝よう」の取り組みは。

**答弁** 講演会の開催や幼児健診での啓発等を行った。若い母親に早期就寝を受け入れやすい形で情報提供するとともに、園や学校、地域とも連携した啓発が必要と考える。



**質問** 子どもを取り巻く環境の変化への対応として、児童・生徒がさらに意欲的に授業に取り組めるよう授業改善を図っていく。

**答弁** 学習の目的や目標を明確にし、児童・生徒がさらに意欲的に授業に取り組めるよう授業改善を図っていく。

**質問** 学校と家庭の間で成績情報の共有化ができていないか。

**答弁** 小学校の通知表は絶対評価のため、学級内等の位置がわかりにくい点がある。26年度からは教師自作の学期末テストを実施し、結果を平均点とともに保護者に知らせ、成績情報を補完していきたい。

**質問** 児童・生徒の学ぶ意欲について伺う。

**質問** ノーテレビ・ノーゲームの日の設ける考えは。

て世帯臨時特例給付金は2万4000人を見込んでいる。

**質問** 磐田・豊田地区での公共交通事業の今後の方向性と説明会での市民意見は。

**答弁** 自主運行バスにかわりデマンド型乗合タクシーを27年4月から運行したいと考えている。説明会ではおおむね理解を得られており、今後は制度周知に万全を期したい。

**質問** 少子化に対応した学校再編と施設老朽化による施設の建築計画を伺う。

**答弁** 施設の耐力度等を調査しながら更新計画を策定する。計画では、小中一休校等を研究し、学校再編を検討したい。

**質問** スポーツのまちづくり基本計画の数値目標、変更ポイント、国の計画との関係は。

**答弁** 数値目標の設定により客観的に評価できるようにするとともに、ライフステージに応じたスポーツ振興等の項目も検討する。国や県の計画を参考にし、本市の特徴を生かした計画にしていきたい。

# 誰もが地域で安心して暮らせるために

新磐田 川崎和子 議員（一括質問）

**質問** 障害者に対する理解を深めるための研修や啓発の現況と課題は。

**答弁** ふれあい作品展や障害の理解を深める講話などを実施している。理解が深まっているか見えにくい点はあるが、今後とも身近なところ



磐田ふれあい作品展

での啓発活動に取り組んでいきたい。

**質問** 基幹相談支援センターの検討状況は。

**答弁** 26年度中の設置の是非を含め、よりよい相談体制づくりに取り組んでいきたい。

**質問** 障害者法定雇用率引き上げで、本市の取り組みは。

**【答弁】** 24年度の雇用率は、市内企業1・69%、市役所2・10%、市立総合病院1・53%となっている。26年度は1・プ

ラザ内に専用執務室を設け、障害者の方の業務調整や割り振りをする嘱託職員の配置を準備している。

**【質問】** ケアホームのグループホームへの一元化について、今後の取り組みは。

**【答弁】** サービス事業を考えている事業者に対し、グループホーム開設を働きかけるなど、設置に向けた推進をしたい。

**【質問】** 障害者の余暇支援に対する新たな取り組みは。

**【答弁】** 特に交流の場づくりが重要であり、26年度から新規事業として居場所づくり事業に取り組み予定である。年4

回ほど、親子での参加を基本に、気楽に参加できる環境をつくり、療育の場を提供しながら一定のカリキュラムに従って活動できる場を提供していきたい。

**【質問】** 地域生活支援事業として、コミュニケーション支援の充実策は。

**【答弁】** 現在、午前中となっている手話通訳者の設置時間を、午後3時まで延長できればと考えている。

### 中心市街地活性化 市営墓地

志政会 絹村和弘 議員（一括質問）

#### 中心市街地

**【質問】** リベール駐車場やユニ1跡地を活用し、市街地にぎわい創出の取り組みを民間の力も借りながら推進しては。

**【答弁】** 駅前のにぎわい創出は、地元



や市民等と一緒に考えることが重要である。リベール駐車場を利用した取り組みは、さまざまな制約があり、さらなる投資につながる等、リスクの発生も予想される。成果の確証が得られない限り、非常に難しいと考える。何とかしたいとの思いはあるので、真剣に挑戦したい。

**【質問】** リベール駐車場起債残高を一括繰上償還しては。  
**【答弁】** 任意での繰上償還には、違約金が4000万円以上かかる。また、一般財源からの繰り入れによる財源調整も必要となるため、繰上償還は、現時点では考えていない。

#### 市営墓地

**【質問】** 環境変化や市場原理導入も考慮し、価格帯を改正することについて見解を伺う。

**【答弁】** 駒場霊園は、資産価値が低下したと思われるが、市営霊園の使用料は、受益者負担の原則や公平性・公正性の観点等も考慮して決定されており、環境変化や市場原理を基準とした見直しは難しい。

一方、緑ヶ丘霊園の使用料は5万円と8万円であり、他の霊園との均衡から、時期を見えて改定を検討したい。

**【質問】** 墓地返還時の使用料不還付の見直しは。

**【答弁】** 現在、検討を進めており、26年度中に方向性について結論を出していきたい。

**【質問】** 今後の市営墓地造成の方向性を伺う。

**【答弁】** 駒場霊園の整備を25年度から2年間休止し、この間に、市全体の市営霊園のあり方を考えていきたい。

### ふるさと磐田出身者を活かすまちづくり スポーツによるまちづくり

志政会 草地博昭 議員（一括質問）

#### ふるさと磐田

**【質問】** 本年は、本市出身の青山土さんが携わったパナマ運河開通100周年記念の年だが、顕彰事業等の企画は。

**【答弁】** 青山土さんの偉業は、図書館のホームページ等で広く紹介している。郷土や社会の発展に尽くされた先人が数多くいることも踏まえ、顕彰事業等は、今後、市民の気運が高まった段階で検討したい。

**【質問】** 国内外で活躍する本市出身者から、まちづくりへの助言を受ける仕組みを作ることはできないか。

**【答弁】** 本市出身者等に、ふるさと磐田を感じていただくため、25年7月、いわたファンクラブをスタートさせた。これが発展すれば、会員からまちづくりに対する提案等をいただくことも可能と考える。

**【質問】** 全国高等学校

#### スポーツ



学校選手権  
女子サッカー  
全日本  
高校選  
手権  
22回  
女子

**【答弁】** 本市がキャン

校女子サッカー選手権大会に代わる事業の今後の方向性は、  
**【答弁】** 現時点で具体的な計画はない。まずは既存の大会の充実等に努め、スポーツ振興基本計画の策定を進める中で検討したい。

**【質問】** 2020年東京オリンピックへ、本市はどのようなかわり方をしていくのか。

**【答弁】** 地元選手が活躍するよう、関係団体と連携しながら人材の育成等に取り組み、スポーツの振興につなげたい。

**【質問】** 本年はサッカーブラジルW杯が開催される。本市は2002年W杯日本代表のベ

ースキャンプ地であり、メモリアル事業の展開等が可能と考える。活用方法を伺う。

# 審 議 結 果

## ■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 25年度一般会計補正予算（第6号）
- (2) 〃 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (3) 〃 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- (4) 〃 （仮称）福田幼保園新築工事（建築）請負契約の締結
- (5) 〃 一般会計補正予算（第7号）
- (6) 〃 公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- (7) 26年度磐田市外1組合公平委員会特別会計予算
- (8) 〃 駐車場事業特別会計予算
- (9) 〃 後期高齢者医療事業特別会計予算
- (10) 〃 介護保険事業特別会計予算
- (11) 〃 広瀬財産区特別会計予算
- (12) 〃 岩室財産区特別会計予算
- (13) 〃 虫生財産区特別会計予算
- (14) 〃 万瀬財産区特別会計予算
- (15) 〃 農業集落排水事業特別会計予算
- (16) 〃 公共下水道事業特別会計予算
- (17) 〃 水道事業会計予算
- (18) 〃 病院事業会計予算
- (19) 消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定
- (20) 職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正
- (21) 職員の修学部分休業に関する条例の一部改正
- (22) 市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正
- (23) 特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- (24) 職員の給与に関する条例の一部改正
- (25) 社会教育委員条例の一部改正

- (26) 廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正
- (27) 市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正
- (28) 市立保育園条例の一部改正
- (29) 手数料条例の一部改正
- (30) 特定環境保全公共下水道豊岡クリーンセンターの建設工事委託に関する協定の変更
- (31) 市道の路線認定
- (32) 市道の路線変更
- (33) 市道の路線廃止
- (34) 25年度一般会計補正予算（第8号）
- (35) 〃 公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- (36) 市議会会議規則の一部改正
- (37) 市議会委員会条例の一部改正
- (38) 人権擁護委員の候補者推薦の意見

## ■賛成多数により可決された議案

- (1) 26年度一般会計予算
  - (2) 〃 国民健康保険事業特別会計予算
- ※ これらの議案は討論が行われました。表決結果はいずれも次のとおりです。  
賛成21（志・新・き・公）、反対3（共）

## ■そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 市議会議員の派遣について

会派名の表記（人数） ※26年3月24日現在  
「志」志政会（10）、「新」新磐田（7）、  
「共」日本共産党磐田市議団（3）、「き」きずなの会（3）、  
「公」公明党磐田（2）  
（注）議長は採決に加われません。

## 5月臨時会の予定

— 5月14日～21日（8日間） —

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局（電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845）までお問い合わせください。

- 5月14日 本会議（議案の上程、説明、質疑）  
常任委員会  
15日 常任委員会（審査予備日）  
21日 本会議（議案の採決等）  
※いずれも午前10時から

新年度が始まり、1カ月が過ぎました。小学生1年生が自分の体より大きく見えるランドセルを背負って通学している姿や、ぶかぶかの制服を着ている新中学生を見ると、大変微笑ましく感じます。今号は、現在の編集委員による最後の議会だよりとなります。1年間ご愛読いただきありがとうございました。

### 編集後記

## 議会インターネット中継をご利用ください

### 利用方法 ①市議会のページ

(<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/shigikai/>)



又は検索サイトにて

磐田市議会 中継  クリック

注）本会議が開かれていないときは、生中継をご覧になれません。録画中継はいつでもご利用いただけます。